

和歌山城のおもてなし忍者について

□調査期間 平成27年10月23日～平成27年11月2日

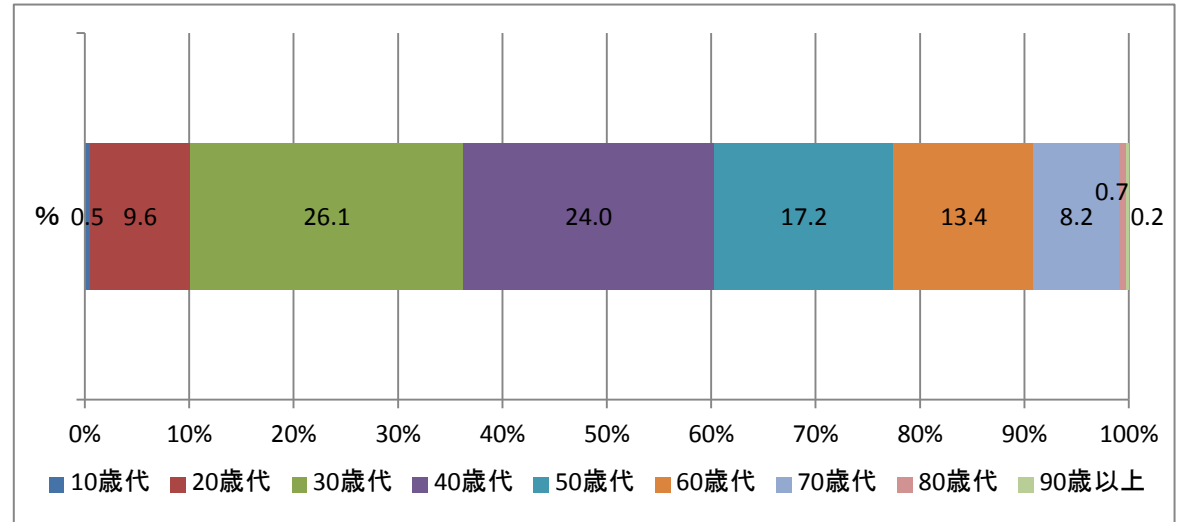
□調査の趣旨 和歌山城の観光振興のため活躍しているおもてなし忍者についてお聞きします。

□対象者数 425 人(平成27年10月23日現在)

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

□対象者年齢

内訳	人数	%
10歳代	2	0.5
20歳代	41	9.6
30歳代	111	26.1
40歳代	102	24.0
50歳代	73	17.2
60歳代	57	13.4
70歳代	35	8.2
80歳代	3	0.7
90歳以上	1	0.2
合計	425	99.9

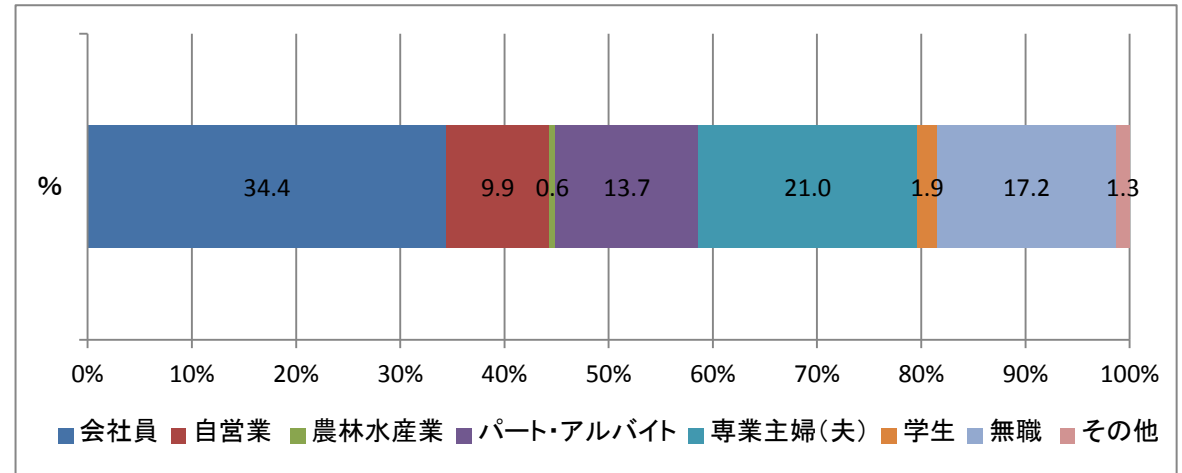


□回答者数 314 人(平成27年11月2日時点)

□回答率 73.9 %

【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	108	34.4
自営業	31	9.9
農林水産業	2	0.6
パート・アルバイト	43	13.7
専業主婦(夫)	66	21.0
学生	6	1.9
無職	54	17.2
その他	4	1.3
合計	314	100.0

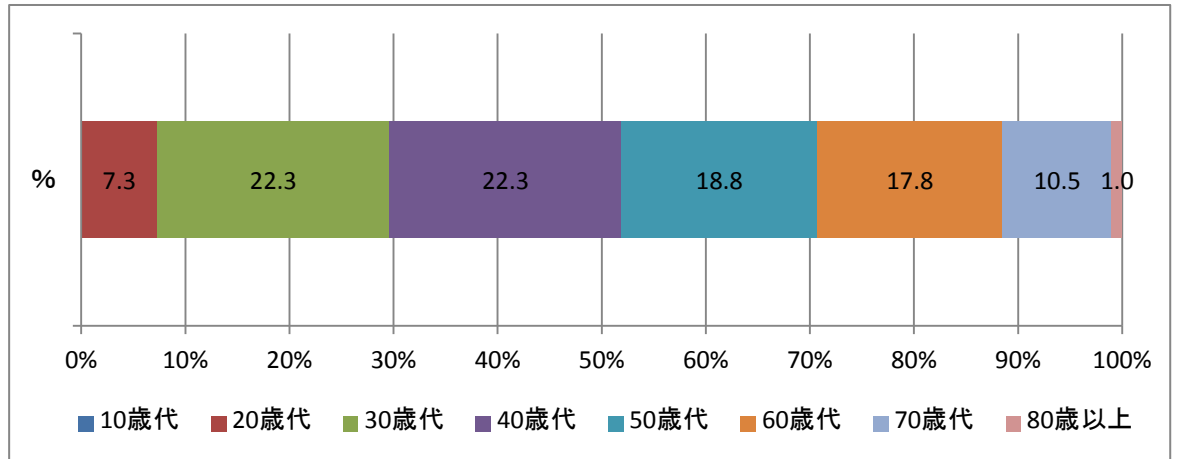


ご職業で「その他」を選んだ方のみご記入ください。

- ・会社顧問
- ・NPO団体理事
- ・会社役員
- ・団体職業

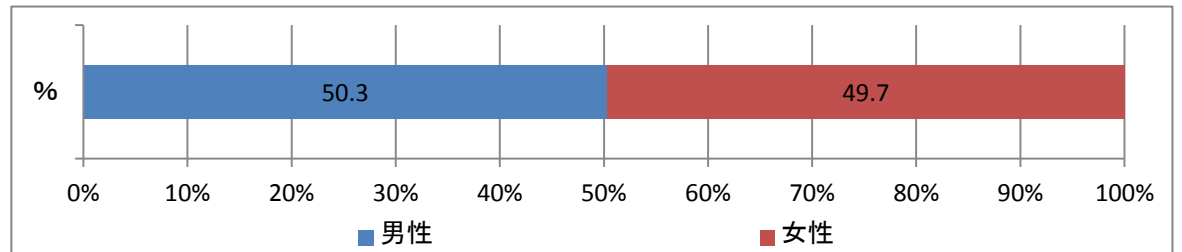
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	23	7.3
30歳代	70	22.3
40歳代	70	22.3
50歳代	59	18.8
60歳代	56	17.8
70歳代	33	10.5
80歳以上	3	1.0
合計	314	100.0



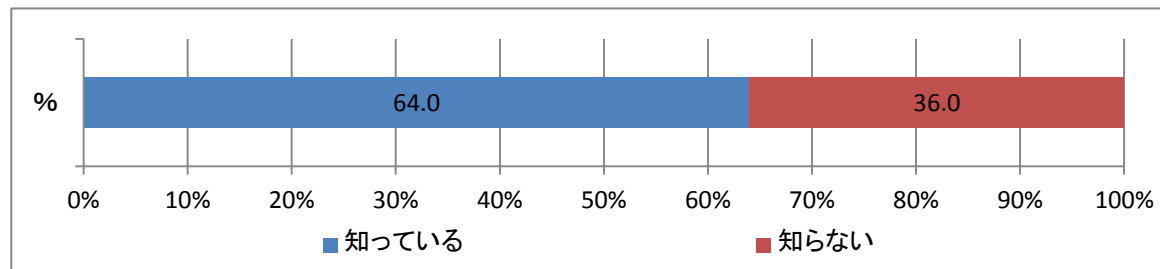
【性別】

内訳	人数	%
男性	158	50.3
女性	156	49.7
合計	314	100.0



問1 和歌山城のおもてなし忍者を知っていますか。

回答	人数	%
知っている	201	64.0
知らない	113	36.0
合計	314	100.0



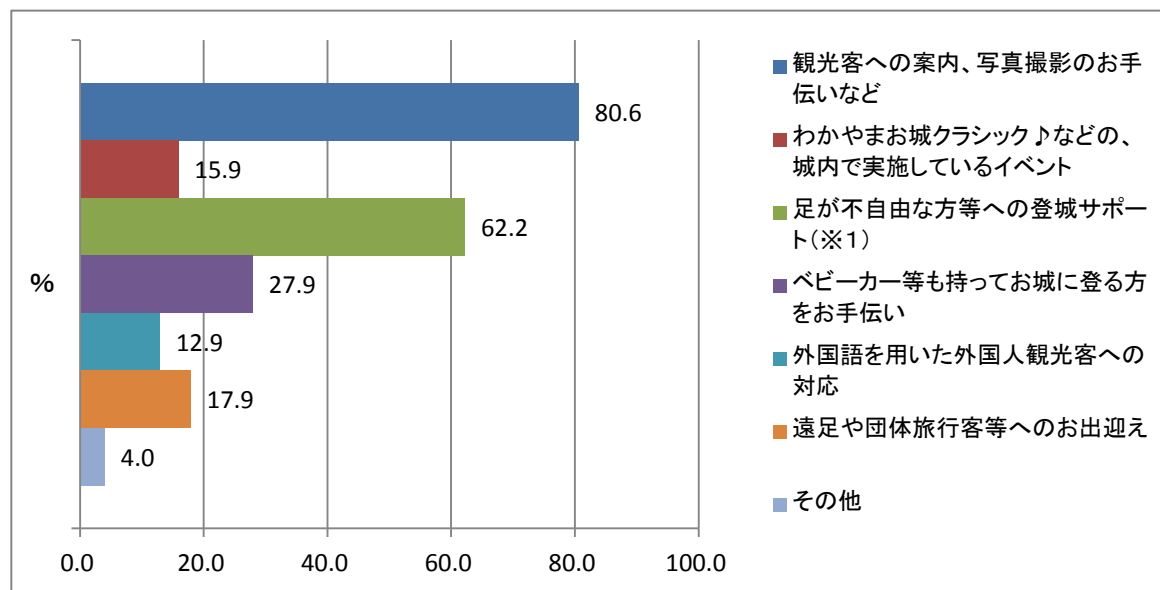
◇和歌山城では「おもてなし忍者」が公園内の随所にひそみ、皆様のお城観光のお手伝いをする機会をうかがっています。お城での記念撮影や、案内が必要な方、困っている方がいれば、どこからともなく姿を見せ、忍法おもてなしの術で和歌山城での楽しい思い出を提供し、和歌山城の魅力向上を目指しています。

忍者の実施しているおもてなしについては、本市ホームページで詳しくご覧いただけます。

URL : http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/wakayama_siro/osiro/omotenasi/omotenasi.html

問1-1 「知っている」と回答された方にお聞きします。忍者が実施しているおもてなしについて、知っているものはどれですか。(複数回答可) (n=201)

回答	人数	%
観光客への案内、写真撮影のお手伝いなど	162	80.6
わかやまお城クラシック♪などの、城内で実施しているイベント	32	15.9
足が不自由な方等への登城サポート(※1)	125	62.2
ベビーカー等も持ってお城に登る方をお手伝い	56	27.9
外国語を用いた外国人観光客への対応	26	12.9
遠足や団体旅行客等へのお出迎え	36	17.9
その他	8	4.0



※1 「登城サポート」とは電動アシスト車いす等を使って、歩行に困難が伴われる方を天守閣前広場まで”忍者の格好をしたスタッフ(ヘルパー2級資格取得者を含む。)が、登城のお手伝いをするものです。

登城サポートについては、本市ホームページで詳しくご覧いただけます。

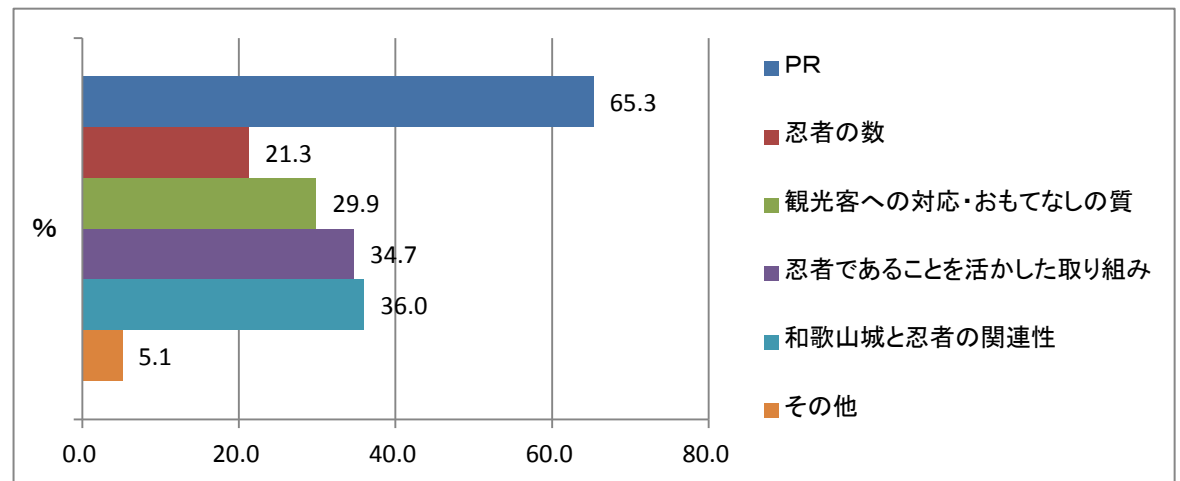
URL : http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/wakayama_siro/osiro/omotenasi/tojosien/tojosien.html

問1-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・名前を知っているだけ。
- ・忍者おもてなし。
- ・夏はミストで涼しくサプライズ。
- ・具体的には知らない。
- ・ニュースで見て知った。
- ・神戸より来た孫を連れて忍者と写真を撮ってもらいにお城に行き、快く撮って頂きました。孫も大変喜んでいました。
- ・4歳の孫が二の丸で子ども忍者のコスプレをさせて頂きました。私は現場にはおらず、嫁から写メを見せてもらったのですが、大変喜んでたそうです。写真も笑顔でした。その時、忍者さんに少し遊んでもらったみたいです。ありがとうございます。私も天守閣での音楽会などで忍者さんに出会いますが、ホスピタリティに富んだ人が多いと思います。

問2 現在のおもてなし忍者の取り組みについて、もっと良くするためには何が必要だと思いますか。(複数回答可)

回答	人数	%
PR	205	65.3
忍者の数	67	21.3
観光客への対応・おもてなしの質	94	29.9
忍者であることを活かした取り組み	109	34.7
和歌山城と忍者の関連性	113	36.0
その他	16	5.1



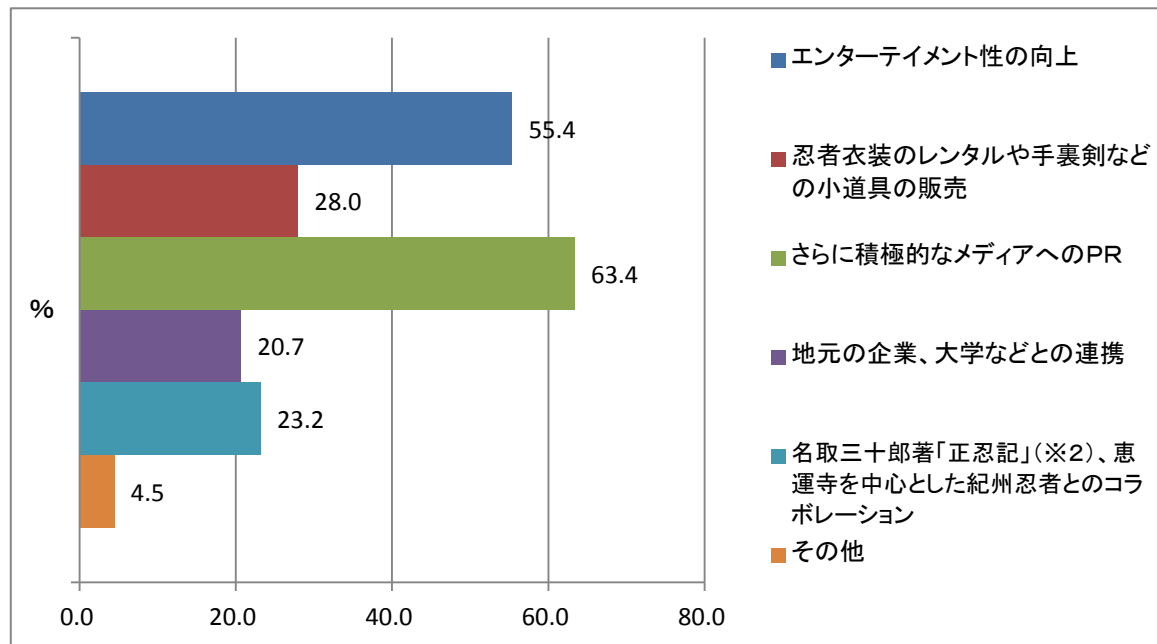
問2-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・よく知らなかった。
- ・あほくさ。
- ・忍者のクオリティ。
- ・和歌山と忍者の関連性に疑問あり。
- ・忍者は忍者。密かに現れるのが良い。
- ・観光客と一緒に忍者ごっこイベントなんか楽しいのでは。
- ・おもてなし忍者を知らないので答えが見つからない。
- ・イベントなどでPRすると良いと思う。この前の冥土カフェも良かった。
- ・和歌山城へ行っても忍者がどこにいるか、また連絡先がよくわかりません。
- ・なぜ忍者なのかも、ゆるキャラとかとのコラボも、他府県と連動しないとTVには報道されない。
- ・なんで忍者なのでしょう？ 忍者でなくても若い男女の語り部さんを育成しては？
- ・どこかのお城でありましたが、忍者姿で和歌山城について説明してもらえたら聞きたいと思います。
- ・忍者である必要があるのでしょうか？ 目立って逆にお手伝いしていただくのが恥ずかしいのですが、海外の方は喜ぶでしょうが、共通のジャケットなどでピシッとした方もいてほしいです。

- ・風評やうわべの人気に頼った安作りのおちゃらけのエンターテインメントは必要があると思えない。上下肢麻痺の車椅子の方達や高齢者に気を使わせないで、外から天守閣登城までサポートできるロボット開発を是非していただきたい。
- ・和歌山城へ入る門に忍者関連モニュメントを設置。玄関口の和歌山インター、JR和歌山駅、和歌山市駅に大きな忍者モニュメントを設置。和歌山場内に忍者屋敷を設置。(子供が楽しめるように。)小さな子供連れのお客様が、お金を使わずに楽しめる施設を多くすると喜ばれると思います。和歌山市内にある遊園地が幼児～小学生向けの遊園地なので、協賛すると更に子供連れの家族の利用が増えると思います。
- ・実際に和歌山城で見かけましたが、忍者っぽくありません。なんかコスプレしている人がいるって感じでした。やっている人が忍者というより、やらされている感があった。

問3 今後和歌山城の魅力を益々向上させるために、忍者によるどのようなおもてなしが必要だと思いますか。(複数回答可)

回答	人数	%
エンターテインメント性の向上	174	55.4
忍者衣装のレンタルや手裏剣などの小道具の販売	88	28.0
さらに積極的なメディアへのPR	199	63.4
地元の企業、大学などとの連携	65	20.7
名取三十郎著「正忍記」(※2)、恵運寺を中心とした紀州忍者とのコラボレーション	73	23.2
その他	14	4.5



※2 「正忍記」とは日本三大忍術書の一つで、忍術の根本精神や正しい忍者のあり方について、紀州藩に仕えた名取三十郎正澄が書き記したもので、名取三十郎正澄の墓が市内吹上の「恵運寺」で見つかり、紀州忍者の存在が注目されている。

問3-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・忍者以外の活動。
- ・忍者ショー
- ・近隣の観光地への道案内など。
- ・和歌山と忍者の関連性に疑問あり。
- ・お金がもったいない。あほくさい。
- ・外国のお客様を対象としたおもてなしを考える。
- ・どこかのお城でありましたが、忍者姿で和歌山城について説明してもらえたら、聞きたいと思います。
- ・お城の景観を害する様な設備の取り付け等は控えてほしい。(例、石段隅へのスロープ設置等)
- ・忍者グループを作る。若い観光客の方も増えるのではないのでしょうか。
- ・忍者のおもてなしは各地で行われています。次は和歌山城に行ったら、これを食べてみたいというような、食の目玉、安い、旨い、そうしたお店が必要です。
- ・忍者がおもてなしと言うのも可笑しいストーリー。スマートグラスなどを使ったダイナミックな観光エンターテインメントを開発してほしい。
- ・メディアで紹介されているので存在は知っているが、実際に和歌山城に行った時に活動しているのを見たことがない。実際の活動をもっと活発にすべき。

・ボランティアではなく、仕事にすれば良いと思います。そうすれば、やり方に創意工夫を凝らすことにも繋がりますし、活気も出てくるのではないのでしょうか。世界各地の観光地では、お仕事としてこういったことをしている人はいますが、ボランティアでしているのは見たことはありません。

・私は戦国時代の史跡めぐりをライフワークとしています。先日、孫を連れて和歌山城の動物園に行きました。その時に、忍者のおもてなしを見ることができました。和歌山城＝紀州忍者というのは、私たち紀州御三家の関心のない者からすると、正直どうでもいいことです。ちょうど和歌山県の観光連盟さんが実施していたアンケートでも意見を言わせていただきましたが、現状としましては来年の大河ドラマにちなみ、九度山町と連携して和歌山城に足を運んでもらう努力をなぜしないのでしょうか。戦国時代だけでなく、歴史ファンの皆さまも同意見です。和歌山城＝紀州徳川家に限定してしまわないでください。

問3-2 問3で選んだおもてなしについて、具体的にどのような方法、取り組みが考えられますか。何かあればご記入ください。(任意回答)

- ・露出が少ない。
- ・お出迎え
- ・忍者体験
- ・ゆるキャラの製作。
- ・紅葉溪庭園でのワークショップ。
- ・忍者についてのうんちくを披露する。
- ・イベントなどへの活動を積極的にする。
- ・本格的な忍者ショーなどのイベント。
- ・忍者屋敷の設置。実演小屋。
- ・敵が出てきてショーをみたいなことをする。
- ・忍者服の背中にPR印刷。
- ・キャラクター等でメディアへのPRを。
- ・観光客自身が体験できると良いと思う。
- ・和歌山市内の宿泊施設やイベントに出発する。
- ・やるなら映画村並みに本格的に訓練してほしい。
- ・イベントや忍者との記念撮影やミス忍者コンテスト等。
- ・忍者の格好で記念撮影。スタンプラリー。バンジージャンプ。
- ・予算を使って他府県と連動したキャンペーン。
- ・わかやま歴史館を利用してイベントを実施する。
- ・忍者茶屋などを作り、忍者メニューを考えて提供。
- ・和歌山の情報を盛り込んだ観光客参加型の忍者ショー。
- ・簡単な忍者教室など開くのも良いのでは？
- ・忍者間の活劇&練習を毎週時間を決めて公開する。
- ・地元のテレビ局で特番を組んで放映してもらう。
- ・和歌山城の観光案内、お城の説明を忍者が実施する。
- ・まずは和歌山市民が知っていて、意見が言える状態にすること。
- ・リピーターを呼べる体験を交えたエンターテイメント性が必要。
- ・忍者になりたい外国人に楽しんでもらえるように、外国語の達人な人を育成する。
- ・忍者らしくする。学生がアルバイトでただ忍者の格好してるだけじゃつまらない。
- ・忍者ショーを見てみたい。それを目的に観光客が集まれば良いと思う。
- ・和歌山市内に住んでいても知らない人が結構いる。もっとPRすべきだ。

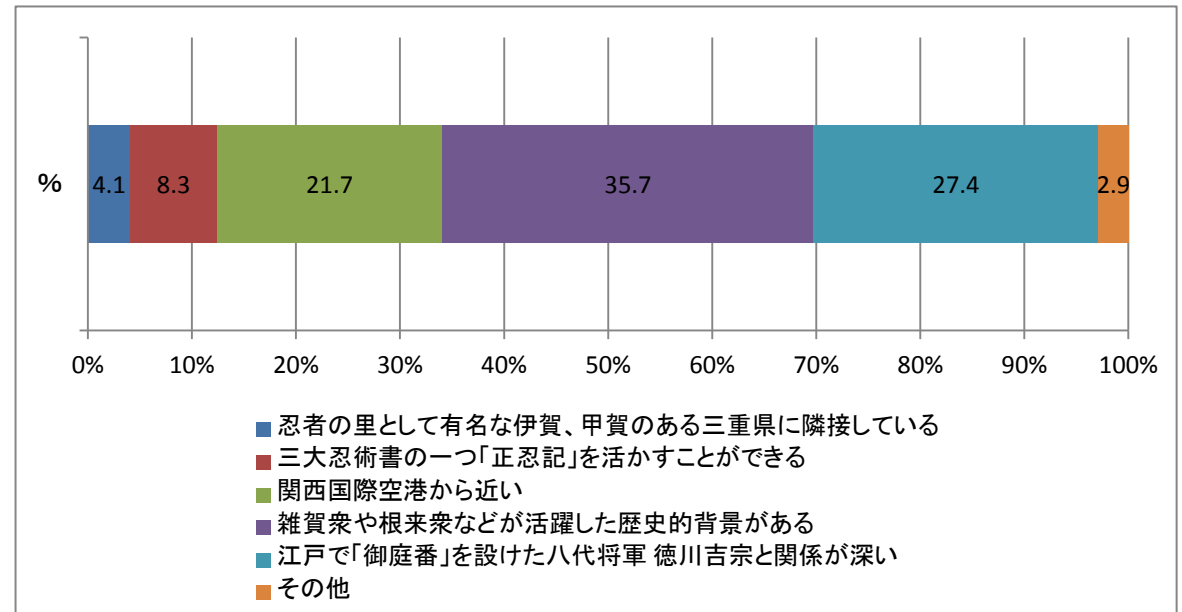
- ・歴史案内
- ・イベント
- ・希望者の募集。
- ・観光地でのふれあい。
- ・民放TVに出てPRする。
- ・認知度を上げる取り組み。

- ・おしゃれなグッズや機能性のある忍者グッズなどがあるとおもしろいと思う。
- ・ちびっこ忍者体験や突然忍者が現れ、パフォーマンスを披露するとかどうですか？
- ・電車内の吊るし広告の実施。和歌山駅前でのイベントの催しで旅行者へのPR。
- ・紀州忍者ってロマンですね。史実の調査が進められたらいいですね。
- ・たこ焼きとか粉物の名物化。高齢化に伴い、お城までバリアフリーにする。
- ・地域のボランティア活動とかオリジナルグッズの販売。
- ・今は空前の刀ブームなので、殺陣の披露をすれば話題性もあっていいかと。
- ・衣装の貸し出しや、それを着て忍者体験ができる等、参加型のものが必要だと思う。
- ・ミスくのーとか、手裏剣の投げ合いのパフォーマンスとかなど。
- ・露出が少ないため知名度が低い。メディア、特にネット中心に広めるべき。
- ・紀州忍者が存在したなら、紀州忍者を題材にした子供向けTVドラマを作る。
- ・和歌山市のホームページや観光のホームページでもっとアピールが必要。
- ・観光客にも忍者の仮装ができるようにすればいいんじゃないかな？と思います。
- ・忍者の日に出勤する協調体制づくり。にんにん体操の導入。健康体操として普及を図る。
- ・観光客の皆さんと身近に交わり、写真を撮ったり手助けをすることから始まり、とにかく声掛けをする。
- ・石垣を登るとか、手裏剣投げ、お堀を走って渡るとか、忍者と言えば、忍術を実際に見たいです。
- ・時代劇をしてほしい。時々将軍様が、出てきてほしい。忍者が出てきて、壁を登っていてほしい。
- ・忍者の活劇、実演。(和歌山とこじつけがある程度必要。)忍者は皆が興味あるテーマです。特に海外。
- ・忍者屋敷や忍者博物館を作り、グッズ販売もする。雑賀衆と一緒に忍者ステージなど。忍者定食。
- ・難しい問いですね。過度になっては迷惑ですからね。外国から観光に来られた方々のサポートをお願いしたい。
- ・名取三十郎正澄の墓がある市内吹上の「恵運寺」で、紀州忍者、伊賀忍者、甲賀忍者との対決パフォーマンス。
- ・忍者体験コーナーを作る。例えば「水蜘蛛の術」や、石垣を利用して対戦型の早登り競争をするとか…。
- ・正忍記の要素を入れることで、お遊びだけではない、言わば日本の伝統の再生といった側面を持っておきましょう。
- ・バック転など、少しでも忍者らしく出来、子供達を楽しませる。子供達が楽しめれば否応なく親も連れて来てるでしょ。
- ・県内への周知はもちろんだけど、メディアを使って県外へのアピールが必要かと…。
- ・和歌山でも知らない人がたくさんいる。広報誌や、フリーペーパー、旅行雑誌などで、どんどん広めるべき。
- ・和歌山と忍者の関係についてあまりわからないが、滋賀県のひこにゃんのようにショータイムを設けるとかも考えられる。
- ・出入り口にお助け忍者を認識させる看板等をイラスト入りで表示、設置する。設置数が少なく来城者が知らないのでは？
- ・興味が、面白い取り組みだと思います。まだまだ浸透するために、市報などでもっとPRしていければいいと思います。
- ・和歌山城にも外国人観光客がたくさん来られるようになりましたが、忍者スタイルが外国人は理解出ているのでしょうか？
- ・SNSへの書き込みとか、カッコイイと思わせる女性の忍者。若い女性が興味を持ってくると、広まり方も速いように思われる。
- ・特にサポートが必要ない登城者への声掛け。あいさつだけだとしても、来る人全てに「welcome」の気持ちが伝えられそうだから。
- ・見たことがないのでよくわかりませんが、メディアとか、取り合えず人の目に触れることをしたら認知度も上がって良いかと思います。
- ・まず、色々な場所でPRする事が必要で、多くの人認知すれば、ツイッターやロコミで拡散でき、おのずとおもてなしに繋がる。
- ・メディアで取り上げてもらう。CMだとしても和歌山の田舎くさい演出になってしまうと思うので、都会の人にプロデュースしてもらうべき。
- ・忍者衣装レンタルで駐車場料金〇時間無料！忍者イベント参加で駐車場料金〇時間割引！忍者料理？当時の考えられる忍びの技とか料理とか。
- ・①新聞を活用した広報。一面全てを使用するなど。②一の橋、岡口門等入城口全てにのぼり、パンフレットの準備等、広報の工夫をお願いしたい。
- ・和歌山の忍者の歴史なり、史実にしっかりと根付いたものである必要があると思うので、単なる忍者装束の人にならないように、教育的なイベントも行う必要があると思う。
- ・忍者さんと、語り部さんが共同でお客さんを接待できないか。素晴らしい語り部を活かす方法を考えてみたら、和歌山城の印象アップができる。
- ・和歌山の有名忍者の存在を広く知らせること。お城の入り口に大きな看板を掲示すること。自動音声発信も共用すること。目、耳を惹きつけて知らせる。

- ・和歌山城と忍者の関係性がよくわからない人が多いと思うので、もっと説明が必要かな。あと、和歌山城でのイベントなどにもっと出場して、認知度を高める必要があると思う。
- ・学生さん達のスキルに頼るのではなく、教育をきちんとしてあげてほしい。共通して使えるスマホアプリなどを提供し、迷った時に忍者さんが使える参考書を。
- ・外国のお客様と国内のお客様とでは、求めている内容が違うので、区分して企画する。和歌山国体の開会式で出された企画は感動的でした。あの内容を縮小してまとめたらどうですか。
- ・テレビでしか知りませんでしたが、見てみたいという本音を感じ取れないのが事実です。正門から城までを木製の通路(橋のような物)があれば、忍者が映えるのでは？
- ・忍者そのものに力を入れるより、当時の衣装や生活、食べ物などを見たり、体験できることや物を考え、そこに忍者の役割や姿も融合させたイベントやもてなしができれば観光地として差別化できる。
- ・無料で衣装をレンタル。子供から外国人にも対応できるサイズを用意する。写真撮影だけでなく、小道具を使った忍者体験。手裏剣などは折り紙でも作れるので、一緒に作って旅の記念にもって帰ってもらおう。
- ・観光客の方を主役に、なりきり忍者体験。また来たいと思ってくれるような楽しいイベントや、スタンプを集めてグッズをプレゼントなんか良いのでは。外国人の方は、かなり興味を持たれるかと思えます。
- ・今現在、おもてなし忍者いますか？最近何度かお城に行っていますが、見かけたことないです。潜んでいるだけではおもてなしにならないと思います。困っていなくても、子供さんと一緒だったら前を走り抜けてアピール兼楽しませてあげるとか、「楽しんでますか？」などのプラカードを出して積極的に触れ合ったり、何らかの行動を起こさないとおもてなしにはならないと思います。自分がしてもらったら嬉しいこと、楽しいことのリストアップを、忍者の人、担当部署の人、一般の人にアンケートしてみてもいいでしょう。おもてなしに直結するので、忍者の人の意見が出るのが一番大切だと思います。
- ・忍者は伊賀、甲賀が有名であり、紀州忍者は初めて知った。和歌山県民も知らないのだから、全国的にはほとんど知られていないと思う。紀州忍者の他と違った特色や衣装、精神を現代風にアレンジしてでも、もっと積極的にPR活動(旅行会社への売り込みや立寄り場所の選定、TVでの広報など)を行うべきと考えます。また、県出身の歌手による楽しいPRソングの充実なども必要と考えます。
- ・忍者をメインにアピールするのであれば、和歌山城以外のところでのPR活動や忍者との関連性のPRが必要になると思う。和歌山城に観光に来て、周辺に楽しめる観光スポットがあればもっと楽しめる。他県や国外から来た人が、駅やお城で他県から来たことを証明できる忍者カード的なものをもらえば、交通機関の割引が受けられる。もしくは、和歌山で行きたい場所や、やりたい事が一度だけ無料になるなど。忍者教室の開催。(忍術的な事を教えてもらえる。)和歌山県で忍術的な事を普及させ、大会を行う。忍者の漫画とのコラボ。
- ・おもてなしも必要ですが、お城周辺の活気が大事でしょうね。最近、彦根城に行ってきましたが、和歌山城という宝の持ち腐れを感じました。商店街との連携 観光に向けての取り組みが実にお粗末です。おもてなし以前にやるべき事がありそうです。残念な思い出が蘇ってきました。
- ・和歌山城を普段から変化のあるものにする。週末だけでもライトアップを変えて、ちょっとした夜店を出すなど市民にも散歩しようかなと思える環境の整備。忍者の配膳による和歌山産、地産地消の軽食がとれる飲食店を観光業としてやってみる。
- ・忍者に案内してもらったこともお見かけしたこともないので、今のおもてなしの状態がいまひとつわかりませんが、例えば案内したら別れ際に記念になるような忍者シールとか、手裏剣型カードとか、そういう簡単なものを思い出にプレゼントするとか…もう取り組みされていたらすみません。
- ・和歌山市は徳川御三家のはずなのに、和歌山市民ですら知りません。学校教育でも和歌山市の歴史すら教えていない状態です。それでは、果たして他の観光客に対して、おもてなしの意義がどこにあるのでしょうか。和歌山市職員の意識から考えなくては。
- ・他府県(熊本城)とかでも、こういった取り組みが何年も前からありますが、同じ事だけでは何も変わらないので、SNS等を使って色々配信したりと、まだまだ忍者の格好をした人が、和歌山城に居る事をもっと和歌山県人にもアピールしていく事も大事だと思います。その中でも子供がいる家庭で、家族みんなで和歌山城に遊びに行く機会を増やす事も必要だと思います。その中で、何かパフォーマンス的なこと等があれば、楽しい時間を過ごせたりするのかなと思います。
- ・せっかく和歌山大学に観光学部があるので、観光学部や経済学部を巻き込んで授業の一環にしたらどうでしょうか。和歌山市としても忍者の数が増えるし、若者の新しい発想を活かすことができるかもしれません。ボランティアの方と和歌山大学の学生と、短期間ではなく長期間で考え、洗練したおもてなしをすれば印象にも残り、おもてなしを受けた方が帰ってからほかの人に話すことで、高い宣伝費用をかけずに効果的に広まると思います。いかにほかの人を巻き込めるかを考えることが成功の一環だと思います。
- ・このアンケートを見るまで、和歌山城に忍者がなげいるのかわからなかった。伊賀からの借り物で何故観光になるのかと思っていた。紀州藩にも忍者がいて、その活躍状況を子供にもわかるようなおもてなしを積極的にしてほしい。外からお城に来る人は、全て素晴らしい歴史を知り、感動するために来るのですから。それを満たしていくのが真のおもてなし。
- ・地域と忍者に関連するグッズの制作。大学のオープンキャンパスに今年子供と参加して気づいたのですが、地方創生のためにコラボして、お土産とかグッズを製作し、アピールしている大学、地域があり、とても関心を持ちました。

問4 現在東京オリンピック等に向け「日本忍者協議会」(※3)が発足予定と言われています。広域にまたがった「忍者観光」を考える中で、和歌山市の持つ「強み」で、最も「強み」になると思われるものは何ですか。

回答	人数	%
忍者の里として有名な伊賀、甲賀のある三重県に隣接している	13	4.1
三大忍術書の一つ「正忍記」を活かすことができる	26	8.3
関西国際空港から近い	68	21.7
雑賀衆や根来衆などが活躍した歴史的背景がある	112	35.7
江戸で「御庭番」を設けた八代将軍 徳川吉宗と関係が深い	86	27.4
その他	9	2.9
合計	314	100.1



※3 「日本忍者協議会」とは、NINJAで外国人観光客を呼び込むため、忍者に縁のある自治体や観光協会が発足の準備を進めているもので、伊賀市の伊賀上野観光協会などが全国的な「忍者観光」戦略に関係者に呼びかけており、「応援団」に歌舞伎俳優の市川海老蔵さんやサントリーホールディングス社長の新浪剛史さんを予定しています。

問4-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・紅葉溪庭園
- ・忍者が強み？
- ・和歌山と忍者の関連性に疑問あり。
- ・「日本忍者協議会」の名前を知らない。
- ・そもそも、忍者と和歌山との繋がりがピンとこないです。
- ・アイデアや創造力などと縁遠いと思われるダークホース的立場が強みとなる。
- ・伊賀上野城は藤堂高虎のお城なので連携したらいいと思いますが、忍者だけに特定せず観光をアピールしてもらいたいです。
- ・とくに和歌山と忍者が結びつかないので、かなり先にブームを作っておかないと 国体の様に認知が和歌山県民だけで終わってしまいそう。
- ・海外からの観光客はほとんどが大阪に行くと思います。大阪城の次に近いお城が和歌山城なので、大阪から一時間、日帰り旅行として訪問しやすいのだと思います。

問4-2 問4で選んだ強みを活かすためには、具体的にどのような方法、取り組みが考えられますか。何かあればお答えください。(任意回答)

- ・集中的な広報。
- ・CMを流す。
- ・キャラクター作り。
- ・徳川吉宗の歴史的資料の発信。
- ・地域で繋がる話し合いの場。
- ・PR
- ・メディアへの露出。
- ・鉄砲隊と協力してアピールする。
- ・関西空港内でのアピール。
- ・関西空港と連携したキャンペーン。

- ・TV、ラジオ、インターネットでのPR。
- ・やはり知ってもらう努力をする必要がある。
- ・吉宗くんも忍者とともに活動する。
- ・動物園など撤去して忍者の施設を。
- ・活劇&練習を毎週時間を決めて公開する。
- ・特にない。忍者と言えば伊賀、上野しか浮かばない
- ・雑賀衆や根来衆の認知度を高める。ゆるきゃらの作成など。
- ・南海電鉄で「和歌山アクセスきっぷ」を発売する。
- ・関西空港で高野山とコラボした和歌山のPR。
- ・母体正忍記を読む会を原点にしてイベントを図る。
- ・PR活動や、正忍記に関して活動している会などとの連携。
- ・お城の付近に武家屋敷や資料館など、関連のあるものを整備する。
- ・和歌山市南別館において雑賀衆や根来衆のリアルなポスターを作る。
- ・史実に近い本物性を重視するのが良いのではなかろうか。
- ・雑賀孫市をもっと有名にする。大河ドラマに出演。
- ・外国人観光客には関心がありそうなテーマなので。
- ・日本人と外国人の両者に和歌山の忍者を知らせる。
- ・お庭番のゆるキャラを作って吉宗くんと一緒に活動。
- ・その時代のドラマや映画を作る。シナリオを募集する。
- ・外国語の話せる忍者を増やす。子供でもわかるショーをする。
- ・大河ドラマの時のような強力なタグがあればいいんだけど・・・。
- ・忍者と言わずにお庭番を設け、徳川吉宗公にちなんだ呼び名に変えるのも良いかも。
- ・空港から和歌山までの交通手段を、忍者関係風に細工したものにしてみる。
- ・きいちゃんに忍者の衣装を着せる。きいちゃんは可愛いので、全国的に通用すると思う。
- ・海賊や盗賊に関する物語、鉄砲隊の実演。前述した、国体開会式の企画が良い。
- ・東京オリンピックにプラスアルファの観光を誘致するための魅力あるスポットやイベントを提供する。
- ・事実に沿った事が重要だと思います。歴史と共に紹介出来れば誘客に繋がると思います。
- ・徳川吉宗はみんな知っていると思います。雑賀衆や根来衆は、歴史好きにしかわからないと思います。
- ・リムジンバスの低価格とPRとホテルの充実。
- ・武将の真田信繁をもっとアピールして(真田幸村)。
- ・まず、あまり知られていないので知ってもらうことが必要だと思う。
- ・いっそのこと忍者だけでなく、お殿様も仕込んで、物語的イベントを常にしたら面白いかも。
- ・まずは、紀州忍者の事を県民はもちろんのこと、多くの方に知ってもらう。
- ・伊賀のように全国的に観光としてPRが必要ではないでしょうか。
- ・海外からの人を呼び込み、忍者に変装できるなどのサービス。
- ・忍者の衣装や食糧など、体験入学等を開催する。
- ・雑賀衆は有名なので、旅行会社等にPRしてみてもどうでしょうか。
- ・徳川御三家というブランドをうまく活用することを検討してください。
- ・なぜ和歌山城で忍者なのか、わかるようにPRしてほしい。
- ・和歌山城忍者の日を設定し、毎月忍者に係るイベントを企画されたいと思います。
- ・関西空港からよりアクセスしやすくする。
- ・関西空港にPRコーナーを作る。パンフレットを置く。
- ・忍者ナンバーワンパフォーマンス。
- ・無料Wi-Fiの充実、英語での観光案内。

- ・マスコミを利用した全国へのアピール。県内だけでなく全国の祭やイベントに参加する。
- ・和歌山の忍者の歴史等をもっとPRして、普及するために広告(ポスター等)して広めていく。
- ・三大忍者書の一つ「正忍記」を市民にどのようなものか、公開とかもっとわかりやすく教えてほしい。
- ・関西空港で忍者のミッションを配り、和歌山城にてクリアする。宝は銀紙でくるんだ、チョコレートの金貨の袋。
- ・和歌山城の歴史、忍者について等をもっと詳しく。観光協会様のお力を頂き、全国的にもっとPRすべきです。
- ・関西空港にも出かけて行く。外国人観光客の観光バスに短時間でもいいので同乗させてもらう。
- ・三重県に隣接していることから、伊賀、甲賀、プラス和歌山観光ルートの一環として、忍者+温泉+海の幸プランの開発など。
- ・お城周辺に城下町を作り、テナントに入ってもらおう。お城の下の売店の貧弱さは他府県のお客さんに恥ずかしい。
- ・伊賀や甲賀はやや不便な所にあるため、和歌山城周辺で伊賀や甲賀忍者の出先屋敷や資料館があると面白いと思います。
- ・根来衆は忍者としてもよく取り上げられています。根来寺の歴史から根来塗までの背景があつての忍者PRはいかがですか？
- ・体系的な整理。わかやま歴史館で大型パネル展示。(現在、ガラスケースではありますが、インパクトが弱い。)
- ・お城はおろか、和歌山市内のどこにも偉大な吉宗像がない。吉宗の功績にまつわる出来事、場所、人物像等を設置、PRすべき。
- ・伊賀市とかに比べると、やはり弱いと思う。それ以上は難しいような。ゆるキャラとかショータイムぐらいしか思いつかない。
- ・忍者が持っていた特殊な技能(薬草、武器、火薬爆発物)をもっと掘り下げてアピール。現代社会にも役立つ忍者の技術的な売り出し方。
- ・観光PRと観光地としての整備。(若干、草が伸び放題な所とか、売店ももっときれいにしたらいいのになと思うこともあります。)
- ・近くにメジャーな伊賀、甲賀があるので、逆に、外国人観光客に向けては穴場の感覚でおもしろく見てもらえるよう、地域性をうまく打ち出していければいいような気がします。
- ・関西空港に降り立った外国人観光客に来てもらい、忍者グッズの販売を通してお金を落としてもらうため、海外の旅行会社やマスコミにPRすればいいと思う。
- ・徳川吉宗役も登場させ、和歌山城だから忍者がお出迎えするんだという歴史をPRする。入口などで映像を流すかパンフレットを置き、忍者のいるお城を正当化する。
- ・外国人の観光客向けの取り組みをホームページなどで詳しくPRしてみてもどうですか。紀州忍者をおもてなしに活用するように和歌山市民にもPRしないとだめだと思います。
- ・三重県の忍者観光の戦略に協力しつつ、実は和歌山でも忍者がいることを猛烈にアピールする。そして実は和歌山は三重と違って関西空港からすごく近いことを付け足す。
- ・もっと全面的に和歌山のもつ時代物をアピールすべき。和歌山城も徳川吉宗もかなり素敵なので、もっと人を呼べるはず。あと、高野山とか格好良いのが沢山あるので、もっと知ってもらえるといい。
- ・現在も年間1回くらい和歌山市駅において「雑賀衆」の関連行事を実施していると思いますが、認知度が今少し足りないような気がしています。もっとアピールが必要かと感じます。
- ・今の忍者ではなくても、レンジャー部隊の方の協力で、天守閣と本丸御殿の間にロープを張り、移動してもらう。あるいは、バスの駐車場の広場から、大奥の方に移動してもらう。(いずれも忍者の姿。)
- ・忍術書『正忍記』、忍者『名取三十郎正澄』、お墓『恵運寺』など強みの部分があると思います。今、色々な取り組みで外国人観光客に向けた忍者ルートや伊賀、甲賀にも負けない三代忍術書ということのPR。まち、市民全体が盛り上がる取り組みの強化。今現在、和歌山青年会議所2015年度ひとつくり委員会が青年忍者学校訪問というPR活動をしています。こういった取り組みもPR活動の一環だと思います。
- ・関西空港と和歌山を繋ぐバスがせつかくあるので、バスに和歌山城と忍者のラッピングをするようにしてもらえたら、和歌山へ観光の予定がない人にも関西空港で周知できると思います。もしくは関西空港行きのバスにボランティアの添乗員さんが乗り、案内をすることができたら県内外だけではなく国外にもPRできる可能性もあります。とにかく県内で周知徹底ではなく、いかに広めることが大事で、広めるのもこちらから積極的にPRするだけでなく、労力のかからないラッピングバスを走らせることで関西空港、JR和歌山駅だけでなく、走行中の高速道路でもPRできていると思います。お金はかかるかもしれませんが、労力も手間もかからないラッピングはどうでしょうか。
- ・和歌山の歴史と忍者の解説を組み合わせた一大テーマパーク作りを企画してはどうですか？大阪のテーマパークや千葉のテーマパークに匹敵するものを作り、和歌山の魅力を全国に伝え、海外の人にもアピールできるようなものを希望します。
- ・海外へのPR。関西国際空港発着便を利用する観光客へのPR。インターネットで和歌山城の忍者のホームページを英語・中国語・ハングル等で作成し、アクセス数を伸ばす努力。(観光局や旅行会社にアピールする。リンクを貼ってもらうなど。)
- ・空港各所にイベントポスターを貼る。関西空港夏まつりの時に和歌山から忍者でイベントに参加し、アピールをする。その時、和歌山城の入場券を無料配布し、是非和歌山にと。そんな地道な努力も良いかと思います。
- ・外国人は忍者など、日本文化が好き。せつかく関西空港が近くにあるのに、他府県に流すのはもったいない。和歌山城で忍者を目一杯楽しんでから、高野山へのお参りなど、そう言ったルートをもっとメディアに打ち出すべき。
- ・海外の間違った忍者への認識を正すこと。英語や中国語などでわかりやすく簡単に歴史を説明できればと思う。有名なマンガ家をお願いして、マンガにしたら和歌山市の子供達も大人も、もっと親しみやすく興味を持ちそう。

・伊賀と甲賀の忍者屋敷は行ったことがあります。近くにあれば何度も行きたいと思います。最低でも子供が楽しめるからくり屋敷の設置が必要だと思います。出石町にもからくり屋敷がありました。普通の民家でしたが、押し入れから天井への通路があったり、隠し部屋があったりと楽しめました。現代風の建築物でも良いので、からくり屋敷があると体験したい人が多くなると思います。外国人にも忍者は人気です。日本人を見ると「あなたは忍者ですか」と聞かれるほど興味津々だと聞きます。湯浅町か広川町にからくり屋敷がありましたが一般公開されておらず、中に入りたいたいとも思っていました。可能であれば移設しても面白いと思います。普通の民家でしたが、中には様々なからくりがあるそうです。

問5 和歌山城のおもてなし忍者について、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。)

- ・PR不足。
- ・きいちゃんとコラボしてください。
- ・きいちゃんに忍者衣装を着てもらう。
- ・あまり知らないのもっと知りたい。
- ・良い取り組みなので応援しています。
- ・忍者ボランティアの教育学校を創設。
- ・忍者はそろそろしなくていいのでは。
- ・大学生がしていたり、あまり活気がないと感じます。
- ・もう少し忍者らしい人がなればいいと思います。
- ・忍者がいるのかいないのか、よくわからない。
- ・和歌山市民ですが、存在自体を知りませんでした。
- ・初めて知りました。もっと外部に向けてPRを。
- ・アイドル性を高める。有名アイドルグループ的な人材。
- ・もっと積極的に観光客に話しかける。忍者になりきる。
- ・健常者にはなるべく目立たないような工夫をしてほしい。
- ・おもてなし忍者なんて、ここで初めて聞きました。
- ・面白いと思います。ずっと続けてください。
- ・面白いと思うので頑張ってもらいたい。
- ・忍者と和歌山との関連性、疑問の方が多いいと思います。
- ・何をしてくれるのか、もっとわかりやすくしてほしい。
- ・お茶と合わせて料金を取って、質を高めては？
- ・露出度を高めるべき。特に、保育園、幼稚園、小学校へ出向く。
- ・ダサイ。知名度が低い。旅行会社への売り込みが必要。
- ・忍者の数を増やしてほしい。忍者体験できるようにしてほしい。
- ・市はもっと補助金を出して活躍させること。
- ・外国の方のためにも、英語とかできる方がいらっしやれば良いですね。
- ・とても良い取り組みだと思います。これからも末長く続けていただきたいです。
- ・関係者は永続できる体制を構築していただきたい。
- ・とにかく多くの人に認識してもらえるように。PRを積極的にしてほしい。
- ・公園前から市役所前までの石垣等に忍者の写真、模型を設置する。
- ・忍者を誤解させるエンターテイメントなので、できれば辞めてほしい。
- ・もう少し規模を大きくし、TVなどで宣伝をして、名物になれば楽しいと思います。
- ・週末に、小学生や中学生に子供忍者になってもらうのも良いのではないのでしょうか。
- ・もっと人数を増やす。
- ・頑張ってください。
- ・本物の役者を雇う。
- ・質を上げる。
- ・知名度を上げてください。
- ・愛想の良い方々でした。
- ・外国人忍者、忍犬の登用。
- ・他に何も無いの？
- ・ぜひもっと幅広く、目立って下さい。

- ・色々な歴史がある和歌山なので多様な意見を募集して、活かして発展させてください。
- ・ただ、忍者の格好をしている人が居るというだけではなく、史実な部分を講釈できれば、なお良いと思う。
- ・おもてなし忍者など、今の時点では経費の無駄使いに終わります。恐らく、費用対効果は期待出来ませんね。
- ・よくわからない。あることは知っていたけれど、休日のみ？和歌山城の駐車場料金が高すぎる。敷居が高く足が向きにくい。
- ・忍者の存在は全く知りませんでした。何かのお祭りやイベントに参加されたら良いのではと思います。
- ・老若男女いろんな人におもてなしができる、いろんな年齢層の忍者がいても良いかも。
- ・忍者のおもてなしをまだ見ていない。もっと目立っていれば良いと思う。
- ・お城に行った時に見かけたのですが、もっと存在感をアピールできれば良いと感じました。
- ・いる場所がわかりにくい。和歌山場内の案内図に忍者控え場所などの場所を書いてもらえたら。
- ・和歌山城に行けば忍者がいたとみんなが認識できるほど活動を活発にしないとPRの目玉とはなりえない。
- ・たまに忍者のアトラクションとか、全国の忍者イベントがあれば誘致するなど。
- ・お城に時々行きますが、忍者の姿をあまり見かけません。今どのような活動をしているのかよくわかりません。
- ・日本人には、和歌山と忍者の関連性がわからない。外国人へのインバウンドをターゲットにしてはどうか。
- ・忍者としてある程度の訓練を受けた人が、毎回何人かずつスタンバイできれば本格的で良いと思います。
- ・大変良い取り組みだと思います。入城された観光客に対しアンケートなどを行って評価し、更なる改善を図ってください。
- ・外国人達には喜ばれるコスチュームなので、積極的に外国人観光客向けのパンフレットなどでアピールしたらウケると思う。
- ・和歌山らしいサービスで良いと思います。でも、和歌山の人以上にサービスアピールするなら、他府県との連動、PRはもっと多くこなすべきだと思います。
- ・本格的な忍者と忍者ハットリ君のようなキャラクター忍者のコラボのような取り組みをしたら、子供から大人まで楽しめるのではないですか？
- ・どんなイベントにでも参加をする必要があるのでは。和歌山城に留まらず、活動範囲を広めるように観光協会が知恵を出して頑張ってもらいたい。
- ・格好良い、また綺麗でマッチョ、新体操ができるなど、エンターテインメント性を持っている方を採用してほしい。宿泊施設等のお芝居の方とのコラボとかも。
- ・近畿の三大忍者の里となるよう、予算をたくさん使って甲賀や伊賀に引けをとらない施設を是非作ってください。
- ・昼間お城の中を通ることはあるけど、一度もお見かけしたことがないので、是非会ってみたいです。
- ・語り部とも相談して、今ある入り口に待機できる人を揃える。のぼりやボランティアのユニフォームで遠来の客を安心して接待する。
- ・現在、和歌山城で活躍をされている忍者の方々に敬意と感謝を申し上げます。続けることが最も大切だと思っています。益々のご活躍をお祈りいたします。
- ・出会ういつも気持ちよく挨拶してくれ、本当に頑張ってくれているなと思います。忍者さんにせめて交通費と食事くらいは支給してあげてほしいです。
- ・いろいろな年代の人がいれば良いですが、なかなか難しいと思います。ボランティア活動、またはゆるキャラでもっとPRしてみてもどうですか。
- ・中国語を話す学生を雇うなど、積極的に対応しているのは大変評価できる。できれば忍者としてのパフォーマンスを身に付け、ショウタイムを展開する。
- ・お城の活性化の観点からですが、天守閣下の広場(昔から売店があるところ)がいかにも殺風景になってしまった。喫茶休憩コーナーの常設が必要と観光客から多く聞く。
- ・実際に見たことがないのでよくわかりませんが、子供から大人、高齢者までが楽しむことができるイベントや企画をしたら、和歌山城との相乗効果が生まれると思う。
- ・とても良いと思います。ファンが付くような人気者忍者が出るといいですね。ホームページに一人一人、写真と一言を載せたら、その人に会いたいと来てくれる人が増えるのも良いかもですが、どうでしょう？
- ・和歌山と忍者の関連性に疑問あり。和歌山と忍者にそもそも関連性が見当たらない。滋賀県や三重県などであれば理解出来るが…。この制度自体が果たして和歌山市のためになるとは到底思えない。
- ・遠足の子供達は喜んでいますが、忍者でまとまって喋っているだけの状態を見ると、おもてなしには見えない。コスプレしてきた若者？みたいに映るので、もっと積極的に来城者に触れ合っていないもったいない。
- ・入賞した子供の絵を和歌山城に掲示いただいた時におもてなし忍者を見たが、和歌山城に行った人にしかわからないと、何かのイベントをしているのかとしかわからない。
- ・お若いのにご苦労さま。これらの忍者さんは何して食べていってるのだろうか。将来の夢はな何なのかと逢う度に思います。今も笑顔でいらっしゃいますが、もう少し笑顔で、話しやすい雰囲気です。
- ・問3ー2「問3で選んだおもてなしについて、具体的にどのような方法、取り組みが考えられますか。」でも回答したのですが、何かパフォーマンス的(イベント等)な事をするようにして、題材的なPRをし、和歌山県民の家族連れや外国人観光客にも楽しんでいただければ良いのではないかと思います。それより、観光客等のSNS発信やTVの特集とかにも取り上げてもらうと効果が得られるのではないかと思います。

- ・敷地内やお城の中にも、仕掛けを作り(中途半端な物なら、しないほうが良い。)、日本中で一番と言われるくらいのことをしてほしいです。いつも、中途半端というか、安っぽい小さな事ばかりです。予算をこの事に全てかける位の気持ちで取り組まないと。財政が少ないから、あっちもこっちも中途半端になります。他県に真似が出来ないような物を作って下さい。
- ・もっとアピールしてくれないと知らないし、話題にも上がったことがない。小学校や幼稚園での親の話にも一度も出たことがない。いくら良いことをしていても、知られていなければ意味がないし、地域の人も知らないのに県外の人を知るのも難しいのではと思う。
- ・当アンケートの設問とは異なりますが、忍者についての知識は、地方情報紙で知り得た範疇で、存在する旨の事しか知りません。9月、10月に数回城内を散策しましたが、お会いすることもなかったです。忍者ですからどこかに居るのですが、一般にはよくわかりませんね。
- ・以前、和歌山城で写真を忍者に撮って頂いたことがあり、とても親切でにこやかな笑顔が忘れられません。2歳の姪も興味津々でした。ですが、忍者がぜんぜんクローズアップされていない和歌山城で、忍者がウロウロしているのは違和感でしかなく。それならきいちゃんのポロシャツ着てやってくれる方がすごく好感を持てるのにと60歳になる母と話していました。知識不足で申し訳ありません。ですが、私のような方がたくさんいらっしゃると思います。なぜ、和歌山と忍者がそれ程までにつながりがあるのか周知させる事が先決だと思います。
- ・季節毎に色んな企画を立て、参加型の忍者イベントがあればいいと思います。忍者になりたい、なりきり忍者等、忍者集まれ、なんかをテーマに、全国から、なりきり忍者を募集し競い、点数を付けてランクを決めたりなんかも面白い。他はコスプレ忍者イベントも楽しいのでは。
- ・忍者は伊賀、甲賀など有名な所がある。和歌山でも有名にすることは可能かもしれませんが、むしろお城の見張り番や足軽など、紀州五十五万石のお城に関連の深い者の方が良いと思う。おもてなしについては、季節毎に梅娘やみかん娘などを活用できれば楽しいと思います。
- ・私は最初はあまり重要視していませんでしたが、とても評判が良い。お城で会ってもみなさん愛想が良く、こちらも嬉しい。おもてなしの質の向上、維持もさることながら、忍者の方々のモチベーションがより上がるように、待遇を強化してあげてほしい。彼らは、言わば和歌山の顔。アルバイトでは維持が難しく、一過性で終わってしまう。
- ・多分日本人の中では「忍者と言えば伊賀、甲賀」と言うのはこの先ずっと変わらない。和歌山忍者で日本人観光客を増やすのは難しいので、外国人をターゲットに「関西国際空港から近い」という強みを生かして「伊賀・甲賀まで行く時間は無いけれど熊野、高野山の帰りに和歌山忍者見て行くか」という旅行客を増やす努力をするのが良いと思う。
- ・せっかく楽しそうな取り組みなのに、あまり有名ではない気がするので残念です。観光客に知れ渡るためには、まず地域に密着して知名度を上げるのはどうでしょう。幼稚園や小学校に和歌山城についての話をしに行くとか。和歌山城をもっと観光スポットにするためにも忍者が関係していると面白くなりそうな気がするのですが。和歌山市の観光パンフレットも巻物風にしてありますが、もうちょっと工夫してワクワクする物になればと思います。
- ・忍者をしている人ってボランティアなのですか？和歌山市が雇用しているのですか？和歌山市の観光PRを、忍者に託すというのであれば、和歌山市で雇用して、その待遇をはっきり市民に示して、そのポジションに見合う評価を獲得できるように素養を高めてほしい。

☆お忙しい中、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート回答者数のうち、約3分の2の方がおもてなし忍者を「知っている」と回答しながらも、PR不足、PRの充実が必要だと、多数のご意見をいただきました。また、取り組み内容については、忍者の活動に関わらず、体験型観光の導入を初め、和歌山城の観光客誘致のためのご提案を多数いただきました。今後の和歌山城の魅力向上のため、これらの意見を参考に、よりよい取り組みができるよう努めたいと思いますので、今度とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。